

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい

かがやく山内西の子

山内西小 HP: <http://cms.saga-ed.jp/hp/yamauchinishi-e/>

武雄市立山内西小学校
学校だより No. 28
令和元年 10 月 4 日発行
文責：校長 石橋佳樹

※「学校だより」はホームページからもご覧いただけます。鮮明な画像でご覧ください。

10/2(水) 授業参観ありがとうございました。



今後も、子どもへ「愛情のつみかさね」をよろしくお願いします！

平日の午後という、調整が難しい日程ではありましたが、「さすが、『チーム山西』の保護者の方だなあ～、ありがたい。本当に、子どもたちの真の応援団だ！」と率直に感じました。たくさん、た～くさん、ご参観いただき、誠にありがとうございました。校長は、今、この文章を綴りながら深く深く頭を下げております。本当です。

子どもは、周囲の人々に「支えられ、見守られている」と感じた時、心の底から安心し、思い切り力を発揮しようとしめます。そのわき上がる意欲とエネルギーを引き出すには、学校(教師)と同じ方向を向き、未来に向けて子どもを共に励ます、親の温かい後押しが不可欠なのです。そんな、暖かい空気と愛情を感じることができました。

今回、本校・分校全ての教室を私も参観しました。各担任も、保護者の方と同じような思いを持っているのです。「この子どもたちだから、こんなめあてでこの教材を使って、こんな力がついてくれるといいなあ…。この場面では、ご家族の方にこんなサービスができるかも…。」などなど、きっと、プロの指導者という立場から、心でつぶやいていたと思います。全ての担任、教師が、前日まで、この日の授業に向けてじっくりと案を練り、教材等の準備を遅くなるまで手を抜くことなくやり遂げています。もちろん、この思いと努力は、参観の日に限ったことではありません。

どうか、今後とも、こんな行事の時には、親も教師も、それぞれの立場から子どもたちのことを思い、日々支え合っていけたらいいなあと感じています。お互いが子の成長を願い、見えないところで心を砕き、汗を流し尽くす姿に、思いを馳せながら、共育を進めていきたいと強く思う今日この頃です。

★スマホ教室で、思いやりのある情報活用について学びました。

5, 6 年は、NTTドコモのインストラクターをお迎えして開催しました。親子でご参加いただきありがとうございました。この、日進月歩が続けている情報化社会の波の中で、小学生とはいえ、この時期に、知っておかなければならない、自分事とし



て考えておかなければならない大切な勉強であったと思います。この内容について各ご家庭で振り返っていただき、お子さんの感想を聞いたり、家庭の事情にあった約束事を決めたりして「実生活に活かす」ことが大切です。子どもの心身の健康を守るために、家庭でのご指導・ご助言もよろしくお願いします。